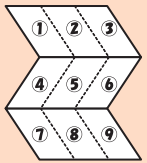


市民活動団体との 協働の手引書 ハンディ版

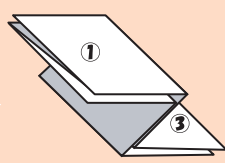


名古屋市
平成23年10月

ハンディ版の折り方



①～③ページが上にくるよう
に、縦をZ折にします。



①の面が上にくるよう
に、横をZ折にします。

①

登場人物の紹介

はち丸

名古屋開府と同じ1610年、名古屋生まれ。
『協働』って言葉は、聞いたことがあるけれど、内容まではよく知らない、協働初心者。



だなも

博識者で、名古屋について何でもよく知っている。
もちろん、『協働』についてもよく知っていて、はち丸君の教師役。



かなえっち

はち丸と一緒に旅をしている
ねがいボシ。
なぜか、『協働』について詳しく、だなもが説明していないことまで教えてくれる解説者。



②

かなえっちの解説



このハンディ版で使う専門的な言葉には、『協働』以外にも、次のようなものがあるよ。
どれもよく使う言葉だから、ぜひ、覚えてね。

NPO … 市民活動を行う団体。
例えば、NPO法人、ボランティア団体など。
市民活動 … 市民の自主的な参加による自発的な活動で、利益の獲得を目的としない公益性を有する活動

NPOというのは、次のような特徴をもっているんだよ。



- ① 自主性・自発性に基づく活動であること
- ② 不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する目的を持つ活動であること
- ③ 利益の獲得を目的としないこと
- ④ 行政機関の一部でないこと
- ⑤ 政治活動や宗教活動を主な目的としない活動であること
- ⑥ 組織であること
- ⑦ 参加したい市民に対して開かれた活動であること

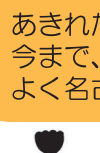
③

『協働』は『なごやメシ』！？

なにやら、はち丸君が泣いています。
どうやら、『協働』という言葉の意味をたずねられて、うまく答えることができなかったみたいです。



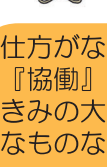
う～ん。さっきは、失敗しちゃったなあ。
『協働』って言葉は聞いたことはあるけれど、よく知らないんだよなあ。
今更、誰かに聞くのも恥ずかしいし、どうしよう……。



あきたなあ、はち丸くん。
今まで、『協働』ってことを知らずによく名古屋市でやってこられたね。



あっ、だなも！今の聞いていたの？
そんなこと言うってことは、だなもは、『協働』について詳しく知っているの？
じゃあ僕に教えてよ。



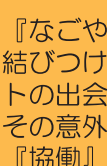
仕方がないなあ。
『協働』っていうのは、一言で言えば、きみの大好きな、『なごやメシ』みたいなものなんだよ。



④



『なごやメシ』！？
それなら、大好きだよ。ほら。今も食べてるもん。
でも、食べ物でもないのに、『協働』が『なごやメシ』ってどういうこと？



『なごやメシ』は、天ぷらとおにぎりを結びつけた天むすや、小倉あんとトーストの出会いが絶妙な小倉トーストなど、その意外な組み合わせが魅力的だよ。
『協働』っていうのも、複数の主体の絶妙な組み合わせで、大きな効果を生むことなんだ。
それぞれの自主性・自発性のもとに相互の特性を認識・尊重しながら役割分担し、公共サービスを提供するため、協力していくこと、それが、『協働』なんだ。



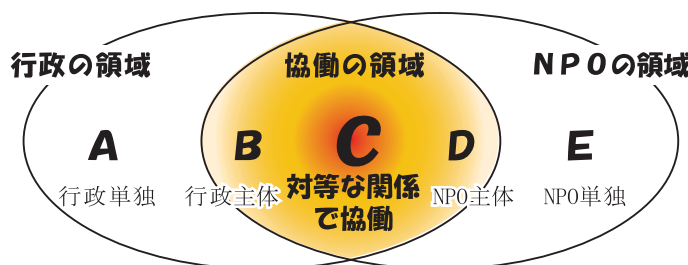
へ～。『協働』って、なんだかおいしそう、じゃなかった、おもしろそうだね。
よ～し、これから、もっと『協働』について勉強して、もっともっとおもしろい名古屋にしていこうぞ！！

⑤

かなえっちの解説



協働は、取り組む主体やその目的、ニーズなどによって、様々なバリエーションがあって、活動領域により下図のように分類できるよ。



協働を進めるときの注意 その1
『協働することが目的じゃないよ』



協働を進めていく上で注意しなくてはいけないことは、「協働することが目的ではない」ということだよ。
協働には、事業協力や後援など比較的、手軽にできるものもあるけれど、他に有効な手法があるかも視野に入れながら、みんなで話し合って進めていこう。

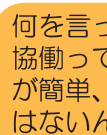
⑥

協働ってやる意味あるの？

協働について、自主的に勉強をし始めたはち丸君ですが、なにやら、協働について、疑問に思っていることがあるみたいです。



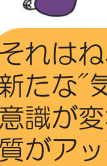
いろいろな人の話を聞くと、協働するのって時間もかかるし、手間もかかるし、面倒だよね。聞くんだよ。協働することのメリットがよくわからないんだよ。



何を言っているんだい、はち丸くん。
協働っていうのは、別に、課題の解決が簡単、楽チンになるからやるわけではないんだよ。



じゃあ、何のためにやるのさ。
余計な事が増えるだけだったら、協働なんてやらなくてもいいじゃないか。



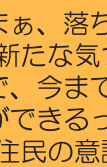
それはね、一緒に活動する事によって、新たな“気づき”を発見できたり、住民の意識が変わったりして、公共サービスの質がアップしていくからなんだ。



⑦



“新たな気づき”？
“住民の意識が変わる”？
それって、どういうこと？
しかも、何で、それで、公共サービスの質がアップするの？



まあ、落ち着きなよ。
“新たな気づき”っていうのは、協働することによって、今まで気づかなかったことに気づくことができるってことなんだ。
“住民の意識が変わる”っていうのは、「公共サービスは、もっぱら行政が提供する」というこれまでの考え方から、なるべく住民の身近な場で、一緒になって問題解決に取り組もう、という気持ちになるってことなんだ。
いろいろな人の知識や経験が活かせるから、公共サービスの質がアップしていくんだよ。



そういうことなんだ。そうすれば、僕たちの地域社会も、もっと便利になっていくね。
確かに、その地域の事をわかっているのは、住んでいる僕たちだもんね。
よ～し、協働、がんばるぞっ！！

⑧

かなえっちの解説



協働することには、次にあげるような意義があるんだよ。
だなもが言っている他にも、以下のことがあるから、よ～く覚えておこう。

- ① 小さな自治活動のきっかけ
- ② 市民が参加するまちづくり
- ③ 新しい「気づき」
- ④ 利用者の立場に立った公共サービスの提供
- ⑤ 関わる人々の意識を変える

協働を進めるときの注意 その2
『協働は経費の削減のためじゃないよ』



協働は、経費削減のためや、果たすべき役割・責任の軽減のために行うものではないんだよ。
確かに、NPOと協働すると、低コストでサービスを提供できたりするけれど、それは、あくまで、結果としてそうっただけなんだ。
協働の目的は、社会的課題・地域課題を解決することであり、経費削減はその二次的結果であるということをお忘れはいけないよ。

⑨

お願いしたことだけやってくればOK？

協働に興味が俄然わいてきて、なんと、自ら協働事業を始めたはち丸君。でもなにやら、困ったことが起こったみたいです。



『何を言っているんだ。協働することがわかってない。』って怒られちゃった・・・
何でこうなっちゃったんだろう。

どうしたんだい、はち丸くん。さっきまで、張りきって協働事業をしてたんじゃないの？

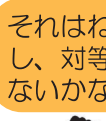


聞いてよ、だなも。今度、僕のステージをやることになってさ。どうせだから、協働事業でやろうと思って、僕がやりたいことを決めて、NPOの人のところに相談しにいったんだ。

自分で、全部決めてNPOのところに行ったのかい？
それじゃあ、『協働がわかってるのか！』って怒られたろう？



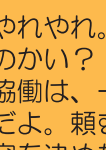
当ったり～！もしかして、だなもって、超能力者？ ま、いいや。そんなことより、僕の何がいけなかったんだろう。僕のステージだから、僕がすべてを決めなくちゃいけないはずなのに・・・。



それはね、目的の共有ができていないし、対等の関係で進めていないからじゃないかな。



ナニそれ？
そんなこと必要なの？



やれやれ。そんなことも知らずにやっていたのかい？
協働は、一緒に考え、実践していくものなんだよ。頼む側だからといって、相談せずに内容を決めたり、見下したような態度をとったり、逆に遠慮して言うべきことを言わなかったり、そういうのはよくないんだ。みんなが満足してくれるために、力を合わせていい事業を実現するってことが大事なんだよ。よく話し合えば、決して難しいことじゃないよ。

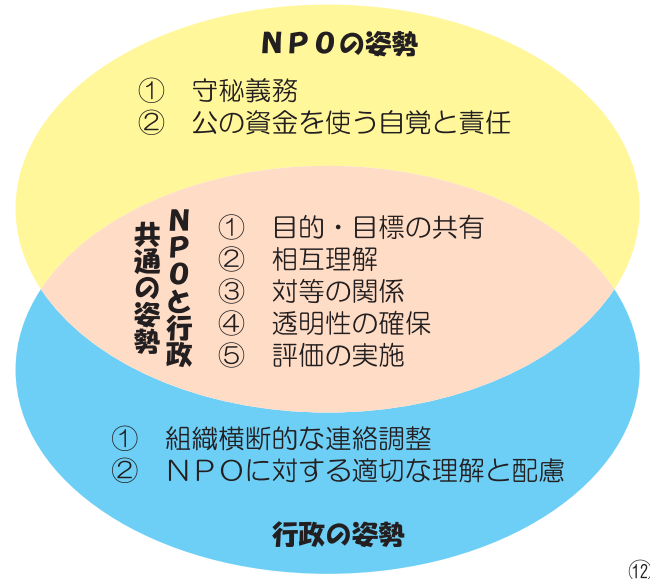


谷折り

かなえっちの解説



協働を進めていく時には、協働の基本的原則に注意する必要があるんだよ。基本的原則には、だなもが言っていた、「目的・目標の共有」、「対等の関係」以外にも、下のようなものがあるよ。しっかりと理解して、はち丸君のような勘違いをせずに、協働を進めていこう！



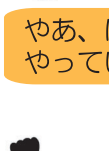
協働に取り組んだはいいいけれど・・・

NPOの人たちとよく語り合って、分かり合えたはち丸君。

話し合っ、順調に進んでいるみたいですが、ちょっと困っていることもあるみたいです。



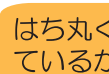
NPOの人と話しはじめると、次から次へといろんなアイデアが出てきて、ほんと、おもしろいなあ。



やあ、はち丸くん。順調に協働事業をやっているみたいだね。



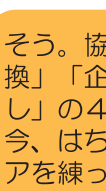
だなもに言われたとおり、話し合いながらステージの中身を決めてるんだけど、NPOの人たちは、いろんなアイデアを持っていておもしろいよ。だけど、協働事業って、僕、初めてやるだろ。だから、この先、どう進めていったらいいか、よくわからないんだよね。



はち丸くんは、協働のプロセスって知っているかい？



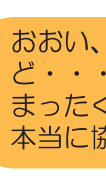
協働のプロセス？



そう。協働を進める過程には、「意見交換」「企画立案」「実施」「評価・見直し」の4つのステップがあるんだよ。今、はち丸くんは、ステージのアイデアを練っているところだから、「意見交換」のステップだね。今後は、「どのような協働をしていくのか？」っていう「企画立案」をやればいいんだよ。



そっか、次は、企画立案をしていくんだね。ありがとう、だなも。じゃあ、早速、みんなと相談して企画してくるよ。じゃあね。



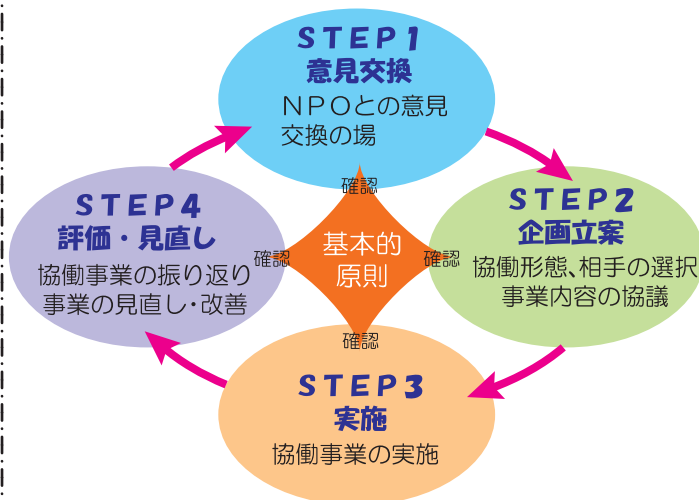
おおい、まだ、説明は途中なんだけれど・・・。
まったく、人の話も最後まで聞かずに、本当に協働ができるのかね。

山折り

かなえっちの解説



協働を進める過程には、「意見交換」、「企画立案」、「実施」、「評価・見直し」の4つのステップがあるんだよ。



ここで、忘れてはいけないのが、協働の基本的原則だよ。これは、協働する上での前提条件だから、常に意識しながら進めていくことが大事なんだ。



協働についてもっと勉強しよう！

ステージは大成功に終わり、仲間に囲まれて大満足なはち丸君。そんな彼に、するすると背後から忍び寄ってくる影が・・・

おめでとう、はち丸くん。ステージは大成功だったようだね。でも、これで、協働が終わったと思ったら大間違いだよ。



うわっ！だなもか。びっくりさせないでよ。なんで、小さくなってんのさ。ステージが終わっていないってどういうこと？今、大成功で終わったじゃない。見てなかったの？

もちろん見ていたさ。ステージが終わっていない、と言ったんじゃないで、協働が終わっていないと言ったんだよ。



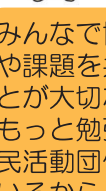
・・・同じことじゃないの？ステージは、大成功だったんだよ。わかった。だなもの出番がなかったから、すねているんでしょ。今度やるときは、ちゃんと出番作るからさ。

協働の最後のステップ「評価・見直し」がまだだろ！！

「評価・見直し」をしないと、次にまた、ステージをやるときに、今回の経験が活かさないじゃないか。この前、それを説明しようとしたのに、勝手に帰って行って・・・



ごめん。そんなに大きくなるくらい、怒ってたんだ・・・。だなもって、案外、根に持つタイプだったんだね。で、「評価・見直し」って何をすればいいのかな？



みんなで協働事業を振り返って、問題点や課題を共有する話し合いの場を持つことが大切なんだ。もっと勉強したい人は、名古屋市が「市民活動団体との協働の手引書」を出しているから、それを読むといい。今まで、私が話したことは全部書いてあるから。じゃあね。



そんな便利な本があったんだ。最初からそれを教えてくれればよかったのに。どれどれ、名古屋市ホームページからダウンロードできるようになっているみたいだね。早速、読んでみよう。



かなえっちの解説



このハンディ版は、多くの人に、協働の知識を身に付けて、現場で協働を実践するためのノウハウを得てもらうことを狙いとしているんだよ。だなもが最後に言っていた、「市民活動団体との協働の手引書」には、ここでは解説できなかった協働の事例や「評価・見直し」の時に便利な『協働振り返りシート』の情報などが載っているから、ぜひ読んでみてね。

「市民活動団体との協働の手引書」の入手方法

名古屋市ホームページから入手できます。
(<http://www.city.nagoya.jp/>)

暮らしの情報

→男女平等参画・人権・市民参加

→NPO・ボランティア

→市民活動団体との協働の手引書

市民活動団体との協働の手引書 検索

お問い合わせ先
市民経済局地域振興部地域振興課市民活動係
電話番号：052-972-3120

18